

# 愛媛県（愛媛県鬼北町）

R3補正  
R4当初

46

## 背景・課題

愛媛県鬼北町では、地域で育成されたとげの少ないユズの有望品種への改植を進めている。環境に配慮した農業を推進するため、有機栽培によるユズの生産振興を図っているが、園地によってはゴマダラカミキリの幼虫による樹幹内部の食害により大きな被害がでるため、捕殺、株元の除草による防除を行っており、今後、環境に配慮した生産方式の普及・拡大を図っていく上で、より効果的かつ省力的な防除体系の構築が課題となっている。また、昨今の肥料価格高騰の影響により、肥料コスト低減が求められている。



鬼北町

## 構成員

愛媛県、鬼北地区農業者、JAえひめ南

## 品目

ゆず

## 成果目標と達成状況

- 有機栽培：糸状菌を用いた微生物防除資材を利用したゴマダラカミキリ防除体系の検討及び地域で生産されている豚糞堆肥を用いた肥料コスト軽減と安定生産による有機栽培取組面積の拡大
- 省力化：微生物防除資材を利用した防除作業工程の削減

## 取組の成果

- 微生物防除資材の利用によりゴマダラカミキリを対象とした防除作業を1回削減でき、国際水準の有機栽培を可能とすることができた。なお、ゴマダラカミキリ発生状況は、農薬散布を行う慣行栽培と同程度であった。
- 地域内で安価に手に入る豚糞堆肥の施用を行い、慣行栽培で行う6・9月の肥料施用を省いたことにより、コストを約39,000円（10a当たり）削減できた。生育についても慣行栽培と差は見られなかった。



ゴマダラカミキリ



微生物防除資材設置の様子



豚糞施用の様子

## 普及に向けた取組

令和4～6年度の実証技術の結果を踏まえ、令和6年度に「グリーンな栽培体系導入マニュアル」を作成し、JAえひめ南管内のゆず生産者を対象とした講習会等の実施等により、普及組織とJAが連携して、地域への普及・定着を図る予定。

問い合わせ先

愛媛県農産園芸課 環境農業係 TEL：089-912-2555